
夢の札束生活

唐務新斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢の札束生活

【NNコード】

N1763P

【作者名】

唐務新斗

【あらすじ】

札束に囮まれた願いを天使に願つた顛末は果たしてこれいかに。

やあ、僕は天使。

君の願いを叶えてあげる。

そう言われて、迷うことなく彼は願った。

「札束に囮まれた生活をしたい！」

かしこまりましたと天使はにっこり邪氣の無い笑顔で微笑んだ。

そう言つわけで。

札束でトランクはいっぱい。

札束でベッドを作つて寝そべる。

札束風呂に入る。

そして、札束を燃やして暖を取る。

妻は、彼に命じる。

「燃やして、もつどじんどん燃やして頂戴！」

寒さに震えながら、男はせつせと札束を遠慮なしに暖炉に放り込む。これだけあつても、まだまだ札束の山はうず高く積まれている。だが、たつたこれだけでは灯油を買つのもままならない。

いらだたしげに妻は舌打ちする。

「まったく、なんでこんな超ウルトラスーパーインフレになっちゃつたのかしら。こんだけ札束があつてもカツプラー・メンすら買えやしない」

そう言つて分厚い札束で男の頬をペチペチ叩く。

「すまん、俺のせいだ……」

申し訳なさそうな男の呟きは、幸いにも妻に届くことは無かつた。

(後書き)

どさんどんみじかくなーるー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1763p/>

夢の札束生活

2010年11月27日23時22分発行